

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	経済学研究科 経済学専攻 修士課程《一般・外国人》	2026年度 秋季
専門科目 (ミクロ経済学・マクロ経済学)		

【I】

《解答又は解答例》

問題 1

$$1-1) \quad S = \begin{cases} \frac{3}{4}p - 3 & \text{if } p \geq 4, \\ 0 & \text{if } p < 4. \end{cases}$$

1-2) 9

1-3) 消費者余剰 $\frac{27}{2}$ 、生産者余剰 81

1-4) 生産量 $x > 0$ における収入は $d^{-1}(x)x$ 。生産量 $x > 0$ における限界収入は

$$(d^{-1}(x)x)' = d^{-1}'(x)x + d^{-1}(x) = \frac{x}{d'(x)} + d^{-1}(x).$$

任意の $x > 0$ について、 $d'(x) < 0$ より $\frac{x}{d'(x)} + d^{-1}(x) < d^{-1}(x)$ 。

問題 2

2-1) $px_1^A + x_2^A \leq 3p + 36, px_1^B + x_2^B \leq 8p + 11.$

2-2) $x_1^A = \frac{p+12}{p}, x_2^A = 2p + 24, x_1^B = \frac{4p+6}{p}, x_2^B = 4p + 5.$

2-3) $p = 3, (x_1^A, x_2^A) = (5, 30), (x_1^B, x_2^B) = (6, 17).$

2-4) 厚生経済学の第一基本定理の内容: ワルラス均衡配分がパレート効率的になること。

ワルラス均衡配分における限界代替率が 2 人の消費者で (価格比と) 一致していればよいので、

$$MRS^A = \frac{x_2^A}{2x_1^A} = \frac{30}{2 \times 5} = 3,$$
$$MRS^B = \frac{x_2^B + 1}{x_1^B} = \frac{17 + 1}{6} = 3$$

により確かめられる。

参考文献

奥野正寛 (編) 猪野弘明・井上朋紀・加藤晋・川森智彦・矢野智彦・山口和男 (著) 「ミクロ経済学演習 第2版」2018年、東京大学出版会

法政大学大学院
入学試験 解答又は解答例、出題の意図

試験科目	経済学研究科 経済学専攻 修士課程《一般・外国人》	2026年度 秋季
専門科目 (ミクロ経済学・マクロ経済学)		

《出題の意図》

問題1 独占市場の基本的な理解を問う。

問題2 競争市場における消費者行動および需給の均衡についての基本的な理解を問う。

【II】

《解答又は解答例》

問題1 1-1) 300

1-2) 25

1-3) $125/3=41.67$

問題2 2-1) 36

2-2) 0.5

2-3) 0.5

2-4) 1、 1

問題3 3-1) 0.2

3-2) 0.1、 0.2

問題4 基本的な経済成長モデルの理解をグラフで確認する問題。解答例は例えば「経済成長理論入門：新古典派から内生的成長理論へ」ジョーンズ、日経新聞出版などを参照。

《出題の意図》

問題1 基本的な国民経済計算、国民所得勘定の理解を問う

問題2 資本移動や資本レンタル価格といった基本概念を問う

問題3 フィリップス曲線の基本的な理解を問う

問題4 経済成長について基本的なソローモデルの理解を問う